2012 年 5 月 15 日

各　位

会社名　ユ　ニ　チ　カ　株　式　会　社
代表者　代表取締役社長　安江　健治
（コード番号　3103）

長期ビジョン『ビジョン２０２０』並びに
中期経営計画「Change＆Challenge’14」策定に関するお知らせ

ユニチカグループは、2020 年近傍を見通した長期ビジョン『ビジョン２０２０』と 2012 年 4 月よりスタートする中期経営計画「Change＆Challenge’14」を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

前中期経営計画「改革’１１」につきましては、最終年度の業績予想を下方修正せざるを得ない結果となりましたが、徹底した構造改革を実行したことで成長に向かっての基盤は強固になってきたものと考えております。

新たに策定した中期経営計画は、10 年程度先、即ち 2020 年近傍を見通した長期ビジョン『ビジョン２０２０』をユニチカグループの「あるべき姿」とし、それを踏まえた最初の３カ年計画と位置づけました。中期経営計画「Change＆Challenge’14」の最終年度となる 2014 年度におきましては、連結売上高 1,900 億円、連結営業利益 130 億円、連結経常利益 100 億円を目指します。

記

I.　長期ビジョン『ビジョン２０２０』の概要

1. ビジョンの名称とスローガン
   名称：『ビジョン２０２０』
   スローガン：～Ｃｈａｎｇｅ＆Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ～
   私たちは自己改革に取り組み、未来に向かって挑戦し続けます
2. ビジョン
   - ◆ お客様と共に成長し、共に夢を叶えていく企業を目指します。
     - お客様の様々なニーズにスピーディに応えるのみならず、
     - お客様に新しい価値を提案し提供していきます。
   - ◆ グローバルに存在感のある企業を目指します。
     - トップシェア商品、ユニークな商材の拡充・拡大を図り、
     - アジア、新興国を中心に事業進出・拡大を図ります。
   - ◆ 全てのステークホルダーに満足を与え、社員が誇りを持てる企業を目指します。
3. 基本方針
   - ◆ 機能資材事業をさらに強化する。
     - コア事業では戦略投資等により「利益ある成長」を推進。
     - 「生活資材」から「環境エネルギー」「社会インフラ」まで幅広い分野で事業展開。
     - 川上・川下との連携を強化しバリューチェーンにおけるプレゼンスを向上。
   - ◆ 環境配慮型商品でトップシェアを目指す。
     - バイオマス樹脂、省エネ対応素材など環境配慮型樹脂でナンバーワン。
     - フィルム、不織布、繊維などアプリケーションの品揃えナンバーワン。
     - 省エネに役立つ商品や快適衣料を提供。

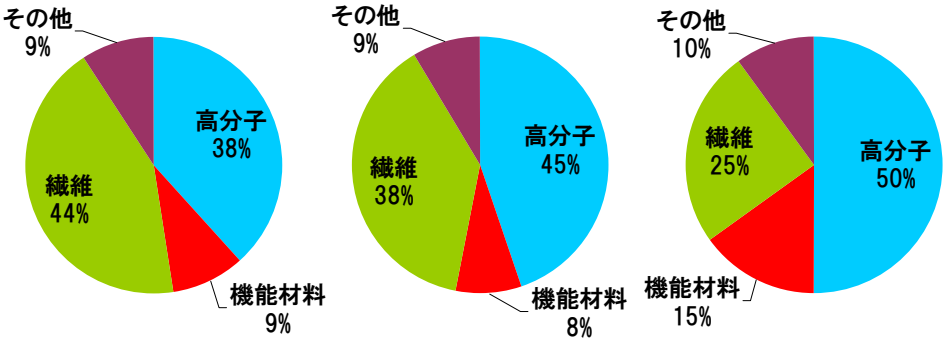
◆ 新素材の開発、新市場・新用途の開拓を強化する。

- 事業横断的な素材技術の融合や総合提案体制を構築。
- お客様と営業、開発部門を直結することによるマーケティング力強化。
- 外部研究機関との連携等による研究開発部門の活性化。
- グローバルオペレーションの推進。

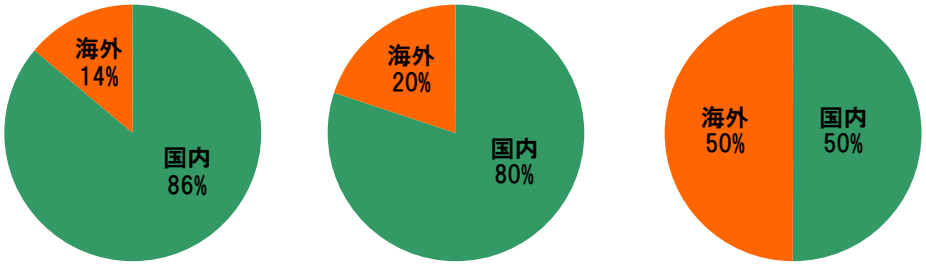
4. 事業規模イメージ

	＜２０１１年度＞ 実績	＜２０１４年度＞ 中期経営計画	＜２０２０年近傍＞ ビジョン２０２０
売上高	１，７４７億円	１，９００億円	３，５００億円
営業利益	９６億円	１３０億円	３５０億円

ポートフォリオ

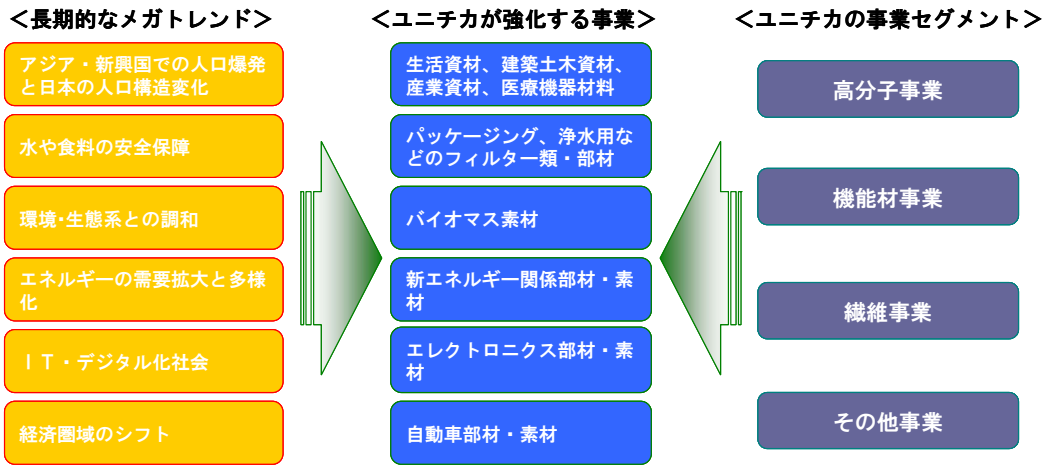


海外売上高比率



5. 強化事業

長期的なメガトレンドから想定される事業機会を抽出し、その事業の市場性、自社への適合性等から強化すべき事業を定めました。



6. グローバル展開

国内市場は人口構造変化・人口減少から成長鈍化・縮小の方向にあり、市場拡大の著しい海外、特にアジア・中国・新興国市場をターゲットにしたビジネスを展開します。また生産についても、「市場のあるところで生産する」、「インフラコストや関税面などで有利な場所で生産する」スキームに主眼をおきます。

既にフィルム事業や不織布事業、繊維事業では海外に生産・販売の拠点を持ち、グローバルに展開していますが、樹脂事業でのタイ拠点（コンパウンド・成型事業）を足がかりにした強化拡大や、機能材料事業（活性炭繊維やガラス繊維）での海外拠点の検討も積極的に進めます。

これらの施策展開により海外売上高比率を半分に引き上げる目標です。

7. 国内展開

国内市場に対しては、これまで以上に高付加価値商品を展開していきます。

またお客様の様々なニーズにスピーディに応えると共に、新しい価値を提案し提供していきます。

8. バリューチェーン

素材供給を軸としますが、お客様との連携を深めていく中で、バリューチェーンの構築も視野に入れていきます。前述のグローバル展開でも触れているように、樹脂事業では成形事業までの展開を図りますし、バイオマス素材では川上へ遡及し原料段階からの差別化を図ります。

また、グループ内のユニチカトレーディング㈱の機能も活用しながら、川中・川下へのバリューチェーンを伸ばしていきます。

9. 組織体制のあり方

◆ 組織横断、組織統合

- 製品別の事業部制組織運営を基本としていますが、市場・顧客の視点に立った横断的な組織運営を図ります。

◆ R&D 機能強化

- 技術開発部門と営業部門、及びその先の顧客との距離を縮め、開発のスピードアップを図ります。
- 産・官・学の連携を進めることによって、開発の効率化を図ります。

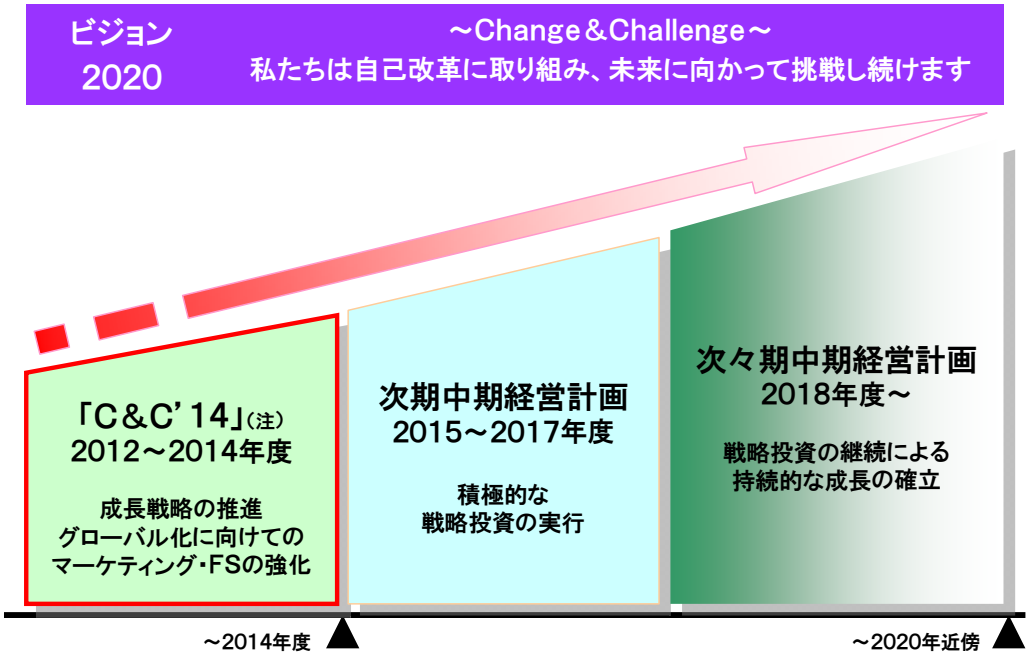
10. 人事施策

◆ グループ経営を担うコア人材、海外事業推進のためのグローバル人材、及び現場力の底上げを図るために必要な人材の確保・育成を推進します。

◆ 海外拠点も含めた積極的な人材配置・層別教育・柔軟な人事制度・多様な人材の登用などの施策を展開し、中長期的な事業成長・強化につなげます。

II.　中期経営計画「Change＆Challenge’14」の概要

1. 計画の名称と期間
   名称：「Change＆Challenge’14」
   期間：２０１２年４月～２０１５年３月までの３カ年
2. 「Change＆Challenge’14」の位置づけ
   『ビジョン２０２０』をユニチカグループの「あるべき姿」と位置づけ、それを踏まえた最初の３カ年計画としました。



（注）「Ｃ＆Ｃ’１４」は「Change＆Challenge’14」の略称。

3. 経営基本方針
   - ◆ 機能資材メーカーとしての基盤強化。
     - • 高分子事業を中心とした事業拡大戦略の推進。
     - • アジア地域を中心としたグローバル戦略の推進。
   - ◆ 低採算事業の収益改善。
   - ◆ 財務体質・株主資本の強化。
4. 経営計画

（金額単位：億円）	2011年度実績	2014年度計画	増減
売上高	1，747	1，900	+153
営業利益	96	130	+34
経常利益	58	100	+42
当期純利益	13	50	+37

有利子負債	1，732	1，600	▲132
自己資本比率	10．6%	13．4%	+2．8%

5. 事業戦略の概要

セグメント	事業		戦略
高分子	Ⅰ	フィルム	ナイロンフィルムのグローバルトップシェア維持。
			ポリエステルフィルム事業の拡大。
	Ⅱ	樹脂	「高機能」「エコ」をキーワードに独自素材の投入、アジアでの事業展開。
	Ⅲ	不織布	スパンボンドの設備投資を視野に入れた既存用途の競争力向上。
機能材	Ⅳ	活性炭繊維	活性炭繊維のグローバル展開。
	Ⅴ	ガラス繊維	産業資材用途の販売拡大、電子材料向け高品質クロスの生産性向上・販売拡大。
	Ⅵ	ガラスビーズ	工業用途の販売拡大。
繊維	Ⅶ	産業繊維	ビニロンの価格競争力強化と販売拡大。
			繊維資材の高付加価値化による収益力の向上。
その他	Ⅷ	メディカル	カテーテルの新商品投入と創傷被覆保護材の中国市場参入。
―	Ⅸ	バイオプラ	新たなバイオマス素材早期投入と事業拡大。

6. セグメント別数値目標

(金額単位:億円)	売上高			営業利益		
	2011年度 実績	2014年度 計画	増減	2011年度 実績	2014年度 計画	増減
高分子	673	850	+177	96	111	+15
機能材	150	160	+10	17	19	+2
繊維	767	725	▲42	7	22	+15
その他	156	165	+9	8	13	+6
消去・全社	―	―	―	▲33	▲35	▲2
合計	1,747	1,900	+153	96	130	+34

7. その他指標

(金額単位:億円)	『改革'11』 実績(累計)	『C&C'14』(注) 累計
設備投資	167	212
減価償却費	189	185
研究開発費	115	138

(注)「C&C' 14」は「Change&Challenge'14」の略称。

＜計画に関する注意事項＞
本資料における計画の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後様々な要因により予想および計画と異なる可能性があります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

ユニチカ株式会社　経営管理室　IR 広報グループ
℡06-6281-5695